

幸田町子ども読書活動推進計画（第二次）

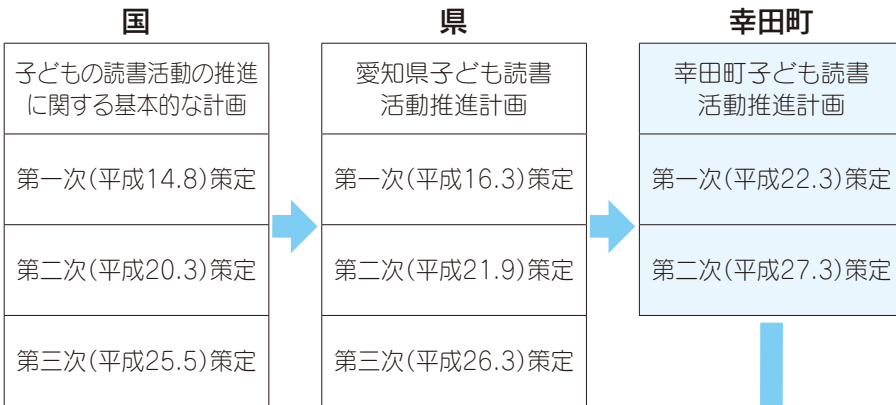


幸田町では、子ども読書活動の法律や国・愛知県の計画を踏まえて、平成22年3月に「幸田町子ども読書活動推進計画」を策定し、平成22年度から26年度までの5年間、取り組みを進めてきました。

この度、すべての子どもがさらに主体的に読書活動ができるようにと願い、「幸田町子ども読書活動推進計画（第二次）」を平成27年3月に策定しました。その概要をご紹介します。

第1章 第二次推進計画の策定にあたって

1 計画策定の経緯と趣旨



「幸田町子ども読書活動推進計画（第二次）」

平成27年3月策定 平成27～31年度の5年間

国の第三次基本計画、愛知県推進計画（第三次）及び本町におけるこれまでの取り組みやアンケートで明らかになった課題に対応するため、また、すべての子どもがさらに主体的に読書活動ができるようにと願い、「幸田町子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定しました。

2 第一次推進計画期間における

主な成果と課題

主な成果

- ① 町立図書館においては、「子ども日司書」などの実施、年齢別ブックリストの作成、保護者向け読み聞かせ講座、ボランティアの情報交換会の実施、保育園・幼稚園、小学校へのボランティア出張読み聞かせの実施など多くの新しい試みが実施され、子どもが本に親しみ読書好きの子どもを育てる取り組みが進みました。
- ② 保育園・幼稚園、小中学校においては、「えほんノート」の作成、保護者へのおすすめの本紹介、職員的能力向上のための研修の実施や週末1冊読書の推進、「読書ゆうびん」活動が実施され、より読書の楽しさを伝える取り組みが進みました。
- ③ 町立図書館、学校図書館はもとより、保育園・幼稚園、児童館や子育て支援センターの児童図書整備・充実を図ることにより、子どもが本を読みたいときにすぐに利用できる環境作りや子どもがより本に興味を湧く工夫をすることができました。
- ④ 読み聞かせボランティアの人数や絵本の読み聞かせ会などに参加する親子が増えました。

主な課題

- ① 小さい時の働きかけにより、本好きの子どもが増えたり読書量が大きく増えたりすることから、今後、家庭での読書活動を推進する働きかけをしていく必要があります。
- ② 図書館職員が各所管に出回ったり、大型絵本の利用を促進したり、ブックスタートを充実するなど、それぞれの施設・部署が少しずつ智恵と努力を出し合い、連携していく環境を整えることが望まれます。
- ③ 町立図書館の除籍資料の活用が学校図書館で始まりましたが、児童クラブや児童館など学校以外の施設でも町立図書館の本が利用できることが望まれます。町立図書館の本を各学校や園、児童館、児童クラブに定期的に巡回させるなどの活動を考えるべく必要があります。
- ④ 保育園・幼稚園でも町立図書館の本の団体貸出が利用しやすいような対応を整備する必要があります。
- ⑤ 幸田町の小5、中2の不読率は、愛知県の平均を上回っています。不読率を下げるために、その年齢に応じた方法を講じる必要があります。



3 子どもの読書活動の現状

幸田町では、小中学生と年長児保護者を対象に読書に関するアンケートを実施し、子どもの読書活動の現状について検証を行いました。(平成21年791人、24年424人、26年767人対象)

○本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合 (%)

	H21	H24	H26
小2	89.3 (57.2)	92.2 (64.7)	91.3 (75.0)
小5	74.4 (36.1)	77.8 (42.9)	84.4 (42.8)
中2	77.4 (36.9)	84.3 (51.0)	86.1 (37.0)
年長児保護者	95.3 (66.6)	----	96.9 (64.7)

* () 内は「好き」と答えた割合。

伸びは緩やかですが確実に増加しています。特に、小2で「好き」と答えた子が、57.2% (H21) → 64.7% (H24) → 75.0% (H26) と大きく伸びていることは取り組みの顕著な成果です。

○1日に本を読む(保護者:子どもが1日に絵本を見る、または読み聞かせ)時間の割合 (%)

	小2	小5	中2	年長保護者
1時間以上	13.8	5.2	4.6	0.3
30分～1時間	21.3	17.9	28.7	12.9
30分未満	53.8	43.9	47.2	65.0
ほとんど読まない	11.3	32.9	19.4	21.8

本を1日にほとんど読まない割合は、小5が3人に1人と最も高くなっています。年長児童についても家庭で絵本をほとんど見ない子が5人に1人、30分未満を合わせると5人に4人強が家庭で本を見る機会が少ない結果になっています。(H26)

○1か月に本を1冊も読まないと答えた割合 (%)

	小2	小5	中2
幸田町	2.5	5.8	11.1
愛知県	4.2		7.6
全国	4.5		16.4

1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合(不読率)は、年齢が上昇するにつれて高まっています。特に、小5、中2については、愛知県の平均を上回る結果になっています。

子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けていくことを目指し、3つの基本目標を設け、この目標を達成するための課題と取り組みを示します。

<基本目標1> 家庭、地域、学校における取り組みの推進

1. 家庭における取り組みの推進

<主な取り組み> ・ブックスタート事業の推進
・保健事業の中での本に親しむための情報提供の検討

2. 町立図書館における取り組みの推進

<主な取り組み> ・読書案内やレファレンスサービス等の充実
・障害のある子どもの読書活動の支援

3. ボランティア団体の協力による取り組みの推進

<主な取り組み> ・出張読み聞かせの継続・充実
・技術向上や新規発掘のための養成講座の継続・充実

4. 児童館・子育て支援センターにおける取り組みの推進

<主な取り組み> ・図書館ボランティアによる読み聞かせの実施
・町立図書館の団体貸出を利用した図書の充実

5. 保育園・幼稚園・学校における取り組みの推進

<主な取り組み>
[保育園・幼稚園] ・園だより等を通して家庭での読書との連携
・保護者自身が絵本を楽しめるような機会づくり
[小学校・中学校] ・教科学習や特別活動などでの図書館の利用推進
・「読書ゆうびん」などの読書に親しむ活動の充実

<基本目標2> 普及啓発活動の推進

6. 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進

<主な取り組み> ・「読書スタンプラリー」などの読書意欲の向上につながる事業の推進

7. 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

<主な取り組み> ・情報誌「ハピル」の図書館ページを学校図書館に提示

8. 優れた取り組みの奨励、優良な図書の普及

<主な取り組み> ・対象年齢別のブックリストを小中学校に配布して、優良な図書の周知・普及



おはなし会

**<基本目標3>
子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備**

9. 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

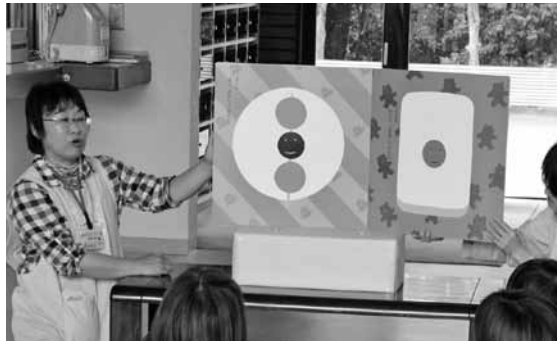
<主な取り組み> ・家庭に向けた図書館利用のPRチラシ等を関係機関に配布
 ・学校ボランティアの技術向上のための講座の開催

10. 町立図書館・学校図書館間の連携・協力の推進

<主な取り組み> ・町立図書館発行の優良図書のブックリスト等を学校図書館に配布
 ・職員間の定期的な情報交換会の実施
 ・町立図書館の除籍資料を学校図書館で活用できる体制の整備



ブックリスト



大型絵本

問合せ 生涯学習課 生涯学習G (内線197)

今回は計画の一部を概要版として紹介しています。計画の全体は町のホームページに掲載しています。町民の皆様にもぜひともご一読いただき、保護者として、地域の一人として、計画の推進にご理解とご協力をいただきたいと思います。

○不読率（1か月に1冊も読まない子どもの割合）

	幸田町の現況	幸田町目標 (H31)	県目標 (H30)
小学校2年生	2.5%	1%以下	3%以下
小学校5年生	5.8%	3%以下	
中学校2年生	11.1%	5%以下	5%以下

○児童図書年間貸出冊数（町立図書館）

幸田町の現況 (H26)	幸田町目標 (H31)
140,617冊	143,000冊

○年長保護者が、1か月にお子さんに読み聞かせをする冊数、または、お子さんが1ヶ月に絵本を見る冊数（4冊以上）

平成21年度	平成26年度	幸田町目標 (H31)
71.8%	72.4%	73.0%

○家庭での読み聞かせのための講座（男性）

幸田町の現況 (H26)	幸田町目標 (H31)
未実施	実施

4つの項目で数値目標を設定しました。

第3章 努力目標